



おすすめ 新着図書

一般書

- 図解やさしくわかる認知行動療法
- 難聴の悩み解消法
- まいにち冷奴
- 食べて強くなる！アスリート中高生の部活弁当
- 午前零時の評議室 (衣刀信吾)
- 頭がわるくて悪い悪い (献鹿狸太朗)
- 魔女の館の殺人 (三日市零)
- 境界のメロディ (宮田俊哉)
- 天使の名を誰も知らない (三輪和音)
- 七つの大罪 (岡崎琢磨/他)
- 八十五歳さよならまでの暇つぶし (りんかんいるか) 他

児童書

- 世界で働く人に聞いてみたなんで日本を飛び出したの？2
- 中学生のテストがさくっと解ける勉強の技術
- 消えゆく街の秘密の友だち (鯨井あめ)
- 真田十勇士 (田中創)
- この夏の星を見る (辻村深月)
- 世にもふしぎな SCP ガチャ！2 (にかいどう青)
- 四つ子ぐらし21 (ひのひまり)
- 【絵本】 おばけかいだん (尾崎玄一郎)
- 【絵本】 恐竜カーレース (いとうみちろう)
- 【絵本】 さかなのきょうだいドレミファソ (堤大介)
- 【絵本】 どこまでいくの (村中李衣) 他

お知らせコーナー

古本・雑誌フリセゾン

期間：10月1日(水)～11月30日(日)

＊詳しくは図書館までお問い合わせください。
みなさまのご来館をお待ちしています。

今月のテーマ展示

怪談は やっぱ
秋だよ

大人向け 『秋の夜長に読む怪談』

子ども向け 『こわい話は終わらない…』

今月のスタッフいちおし！

一般 『ほうかごがかり』 甲田学人/著

小学六年生の二森啓はある日、教室の黒板に突然自分の名前が謎の係名と共に書かれているのを目撃する。その日の深夜 12 時。突然自室に学校のチャイムが鳴り響き、開いた襖の向こうには墓地と化した学校があった。啓は、この異次元の学校にいる怪異の管理と記録をする「ほうかごがかり」の一人として招かれたという。ほうかごがかりの仕事は、担当となった怪異を記録して成長を止めること。卒業するか■■■■まで。この日から命がけの“観察”が始まる。

児童 『世にもふしぎなSCPガチャ！』にかいどう青/作

SCP って聞いたことがあるかな？ SCP財団は異常存在から人々を守るために活動している秘密の組織。財団の職員に確保されたオブジェクトは「Special（特別）Containment（収容）Procedures（手段）」にしたがって、財団により適切に管理されている。財団のエージェントであるクオリアは、このオブジェクトのコピーを生み出す、SCP ガチャを探している。このオブジェクトの確保もそうだが、なによりも、このガチャを使ってどうしても叶えたい願いがあるからだ。

「中秋の名月」今年は10月6日(月)

なんとなく、9月のイメージがあったので、調べてみたら10月でした。でもせっかくなので、お月見の話を少し。貴族社会の風習だった月見が庶民に広まったのは江戸時代に入ってから、その頃は芋煮を食べて夜遊びする日だったようで、今のように団子などをお供えするようになったのはもっと後になってからののだとか。ちなみに中秋のお月見は十五夜と十三夜がひとセットで、片方だけは縁起が悪いものと言われています。ぜひどちらの月も楽しんでみてください。



8月3日の「真夏の怪談会」に参加してくれて
ありがとう。また来年も来てね、待ってるよ。